

二台のピアノが、こんなにも美しく透明に響くものなのか。そしてドラムの音色が、その空間に魔法をかける。

演奏家、作曲家として似た様な音楽性と美学を持つ二人のピアニスト、Dan Cavanagh と James Miley。旧友であり、それぞれ教授としての顔を持ち、共に名高い大学の音楽科にて教鞭を執り続けている。そんな二人が 2018 年の春頃、予てより計画していた二台ピアノコンサートを実行に移しライブ録音を行った。共に学んだ地であるオレゴン州にて、二日間に渡り開催されたそのコンサート。そこで二人が作り上げた音世界は見事なものだったが、残念ながらその美しさは録音には反映されず、ライブアルバムとしてのリリースは断念した。しかし、それを機に意欲が更に増し、改めて二台ピアノ+シンセサイザーでのアルバム制作を企画し、2019 年 12 月に同じオレゴン州にあるスタジオで遂に録音を開始したのだ。KAWAI の計らいで二台の Shigeru Kawai SK-3 が用意され、職人の手により丹念に作られたその二台のピアノにより、二人の世界は更に広がりを見せた。そして、いよいよシンセサイザーを追加していく工程に移ったタイミングで、新型コロナウイルス感染症が世の中を席卷し始め、制作も一時中断。その後、数ヶ月の時を経て再開し始めるも「まだ何かが足りない」と感じ、直感的に電子音ではなく、実際のパーカッション/ドラムの音が必要だと二人は確信した。そこで第一に名前が挙がったのが、以前から二人とも親交のあったドラマー、John Hollenbeck だ。作曲家としても高く評価され、唯一無二の存在である Hollenbeck が加わり、この音楽は大きな進化を遂げ、この変則トリオとしての完成形へと導かれた。

偶然の重なりが必然に変わる。そして最終的には元にした場所に戻り、求め続けていた世界へと。Cavanagh の教え子でもある福盛進也のレーベル、S/N Alliance からこのアルバムがリリースされたことも、運命的なことだろう。

「Another Life」

この時代に、この世の中だからこそできあがった音楽。そして、そこから開かれるいくつもの扉。進んでいけば、いずれ、全てがあるべき場所へと辿り着くだろう。